

記事を読んで、問いに答えなさい。

6月27日に公式戦が再開したJリーグでは無観客の影響もあってか、ホームのクラブが苦戦している。7月4日のJ1第2節はホーム側が2勝1分け6敗と大きく負け越し、J2、J3の計40試合は対戦成績が五分。サポートの後ろ押しが得られない会場では、ホームの優位性が薄れるのかもしれない。

## J1第2節 2勝1分け6敗

昨季はJ1で行われた計306試合でホームクラブは128勝72分け106敗と分が良く、J2とJ3もホーム側が勝ち越している。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として近隣クラブ同士の対戦が多く組まれ、敵地に乗り込む選手の移動負担が軽減されたことも一因に考えられる。

G大阪は本拠地の「大阪タービー」に1-2で敗れた。ホームで2004年以降、C大阪とのリーグ戦は9勝1分けだったが、17年ぶりの黒星。ライバルへの圧力となるサポートの大声援がなく、宮本監督は試合後



横浜Mと引き分け、無観客のスタンドに向かいあいさつする浦和イレブン＝4日、埼玉スタジアム

「ホームのアドバンテージを感じられない部分はあった」と振り返った。ドイツ1部リーグでもコロナ禍による中断明けの無観客試合で、ホーム側がアウェー側より勝ち点を稼げなかった。Jリーグのガイドラインは観客が入る7月10日以降も、感染防止策として手拍子や声を出しての応援は禁じている。会場のスピーカーで声援や拍手を流すなど各クラブは工夫を凝らすのが、果たしてホームの利は。

# ホームの優位性 無観客で薄れる？

①記事を参考に、ホームのクラブが有利であると考えられる理由を書きなさい。

②見出しの□にあてはまる漢字3字を書きなさい。

--	--	--

③今後、ホームの優位性が感じられるようにするため、どのような工夫が考えられているか。

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えなさい。

**解答例**

6月27日に公式戦が再開したJリーグでは無観客の影響もあってか、ホームのクラブが苦戦している。7月4日のJ1第2節はホーム側が2勝1分け6敗と大きく負け越し、J2、J3の計40試合は対戦成績が五分。サポーターの後押しが得られない会場では、ホームの優位性が薄れるのかもしれない。

## J1第2節 2勝1分け6敗

昨季はJ1で行われた計306試合でホームクラブは128勝72分け106敗と分が良く、J2とJ3もホーム側が勝ち越している。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として近隣クラブ同士の対戦が多く組まれ、敵地へ乗り込む選手の移動負担が軽減されたことも一因と考えられる。

G大阪は本拠地の「大阪タービー」に1-2で敗れた。ホームで2004年以降、C大阪とのリーグ戦は9勝1分けだったが、17年ぶりの黒星。ライバルへの圧力となるサポーターの大声援がなく、宮本監督は試合後



横浜Mと引き分け、無観客のスタンドに向かいあいさつする浦和イレブン＝4日、埼玉スタジアム

「ホームのアドバンテージを感じられない部分はあった」と振り返った。ドイツ1部リーグでもコロナ禍による中断明けの無観客試合で、ホーム側がアウェー側より勝ち点を稼げなかった。Jリーグのガイドラインは観客が入る7月10日以降も、感染防止策として手拍子や声を出しての応援は禁じている。会場のスピーカーで声援や拍手を流すなど各クラブは工夫を凝らすのが、果たしてホームの利は。

## ホームの優位性 無観客で薄れる？

①記事を参考に、ホームのクラブが有利であると考えられる理由を書きなさい。

(例)  
ライバルへの圧力となるサポーターの大声援  
敵地へ乗り込む移動の負担が大きい

②見出しの□にあてはまる漢字3字を書きなさい。

**無観客**

③今後、ホームの優位性が感じられるようにするため、どのような工夫が考えられているか。

(例)  
会場のスピーカーで(サポーターの)声援や拍手を流す。

サポーターの写真を会場の椅子に置く。

年 組 名前